

みまや通信

いわき市医療センター臨時号



◎目次

○医療センターの概要	2
○病院事業管理者・院長挨拶	3
○フロアのご紹介	4～5

○医療センターの特色	6～9
○患者サポートセンターの紹介	10
○完成式典・内覧会のようす	11



いわき市医療センター
Iwak City Medical Center

基本理念

「慈心妙手」

わたしたちは、市民の健康と生命を守るため、安全で安心な医療を提供し、地域から信頼され、進歩し続ける病院を目指します。

「慈心」(じしん:相手を慈しみ思いやる気持ち)で患者さんに接し、「妙手」(みょうしゅ:優れた医療技術)で診療、治療を行うことです。



施設概要

【敷地面積】 73,036.14㎡ 【建築面積】 13,445.33㎡(うち、新病院棟 11,038.76㎡)
【延べ面積】 65,090.92㎡(うち、新病院棟 62,741.46㎡) 【階数】 地上13階(屋上ヘリポート)、地下階なし
【高さ】 55.68m
【構造】 鉄骨造(一部CFT柱) 一部鉄筋コンクリート造
[病院棟]:鉄骨造(一部CFT柱) 13階(免震構造) / [リニアック治療棟]:鉄筋コンクリート造 1階(耐震構造)

【総病床数】 700床

【一般病床】 679床

【結核病床】 15床

【感染症病床】 6床



一般病床
(679床)の
内訳

- ICU(特定集中治療室)…………… 10床
- HCU(高度治療室)…………… 12床
- E-ICU(救命救急室)…………… 20床
- NICU(新生児特定集中治療室)…………… 6床
- GCU(新生児治療回復室)…………… 12床
- 小児…………… 29床
- 産科…………… 30床
- 緩和ケア…………… 20床
- その他…………… 540床

診療科目

- 内科
- 呼吸器内科
- 循環器内科
- 消化器内科
- 神経内科
- 心療内科
- 外科
- 呼吸器外科
- 心臓血管外科
- 小児外科
- 整形外科
- 脳神経外科
- 形成外科
- 精神科
- 小児科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 産婦人科
- 眼科
- 耳鼻いんこう科
- リハビリテーション科
- 放射線科
- 病理診断科
- 救急科
- 麻酔科
- 歯科口腔(くう)外科



いわき市病院事業管理者 平 則夫

日ごろ、本市病院事業に対しまして、深いご理解と多大なるご協力を賜り、深く感謝を申し上げます。

当院は、昭和 25 年に旧平市並びに石城郡の町村が共同で運営する「組合立磐城共立病院」として開設し、昭和 41 年のいわき市誕生とともに「いわき市立総合磐城共立病院」となりました。それから 50 余年にわたり、地域の中核病院として安全で安心な医療を提供し、地域から信頼され続ける病院を目指して運営してまいりました。病院の名称を「いわき市医療センター」に変更いたしますが、これからも第三次救急医療をはじめ、高度・先進医療の拠点病院として市民の皆様にも永く愛される病院を目指してまいります。医療センターでは、地域医療を担う医師の育成を進めながら、「治療」はもとより「教育」、「研究」の一層の充実を図ってまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



いわき市医療センター 院長 新谷 史明

市民の皆様にも安全で安心な医療を提供するため、「機能的で使いやすい」、「災害に強い」、「患者の中心」等の方針のもと進めてきました新病院棟の建設工事が、平成 30 年 9 月に竣工しました。

建物は地上 13 階で、緩和ケア病棟の新設、手術室や化学療法室の増設、高機能のMRIやSPECT/CT等の機器の導入、患者サポートセンターやがんサロン室の開設など、医療環境を大幅に改善しております。

さらに、災害拠点病院として免震構造の採用、緊急用ヘリポート（屋上）の新設のほか、ライフライン遮断時に 72 時間以上活動ができる機能も備えております。

今後は、「いわき市医療センター」として、新たな歴史を刻んでいくこととなりますが、病院の基本理念である「慈心妙手」の精神のもと、地域から信頼され進歩を続ける病院を、職員一丸となって目指してまいりたいと考えておりますので、これからもよろしくお願い申し上げます。

【沿革】

昭和 25 年 11 月	磐城共立病院開設 内科・外科・産婦人科設置	平成 8 年 11 月	災害拠点病院指定
昭和 31 年 3 月	結核病棟竣工	平成 11 年 4 月	第二类感染症指定医療機関（県指定）
9 月	歯科設置	平成 14 年 4 月	地域周産期母子医療センター認定（県認定）
昭和 33 年 5 月	呼吸器科設置	平成 21 年 9 月	地域医療支援病院指定
昭和 35 年 5 月	眼科設置	平成 22 年 4 月	市立常磐病院と統合
6 月	小児科・整形外科 皮膚泌尿器科・放射線科設置	7 月	福島県がん診療連携推進病院認定
昭和 36 年 9 月	耳鼻咽喉科設置	平成 24 年 12 月	東北大学大学院医学系研究科の連携 講座「消化器地域医療医学講座」に関する協定締結
昭和 41 年 10 月	いわき市立病院となる 「いわき市立総合磐城共立病院」	平成 25 年 2 月	福島DMAT 指定病院指定
昭和 42 年 2 月	脳神経外科設置	平成 26 年 8 月	地域がん診療連携拠点病院指定
5 月	本館新築	平成 27 年 3 月	福島県立医科大学の寄付講座「地域整形外科支援講座」に関する協定締結
昭和 43 年 4 月	磐城共立高等看護専門学校開院 救急病院認定（県）	平成 28 年 4 月	病理診断センター開設
昭和 49 年 5 月	心臓血管外科設置	平成 29 年 3 月	北里大学の寄付講座「小児・小児循環器 地域医療学（いわき市）」に関する協定締結
昭和 50 年 5 月	皮膚科設置		東北大学大学院医学系研究科の連携講座 「地域先進医療学講座」に関する協定締結
昭和 51 年 4 月	麻酔科設置		
昭和 53 年 12 月	小児外科・呼吸器外科設置		
昭和 55 年 4 月	救命救急センター併設（県指定）	平成 30 年 9 月	新病院本体工事の竣工
昭和 56 年 2 月	臨床研修病院指定	平成 30 年 12 月	「いわき市医療センター」と改称し、開院



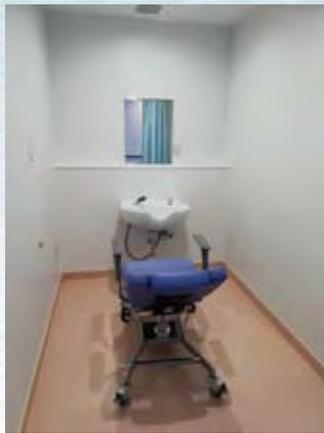
▲ ヘリポート(屋上)



▲ 屋上庭園(6F)



▲ 木製アート(1F~2F)



▲ 洗髪室(各病棟)



▲ デイルーム(5~13F)



▲ 患者図書館(1F)



▲ リハビリテーション室(2F)



▲ 化学療法室(2F)



▲ 美容室(1F)



▲ 小児科診察室(1F)



▲ 総合案内(1F)

階構成図

PHF

13F

12F

7~11F

6F

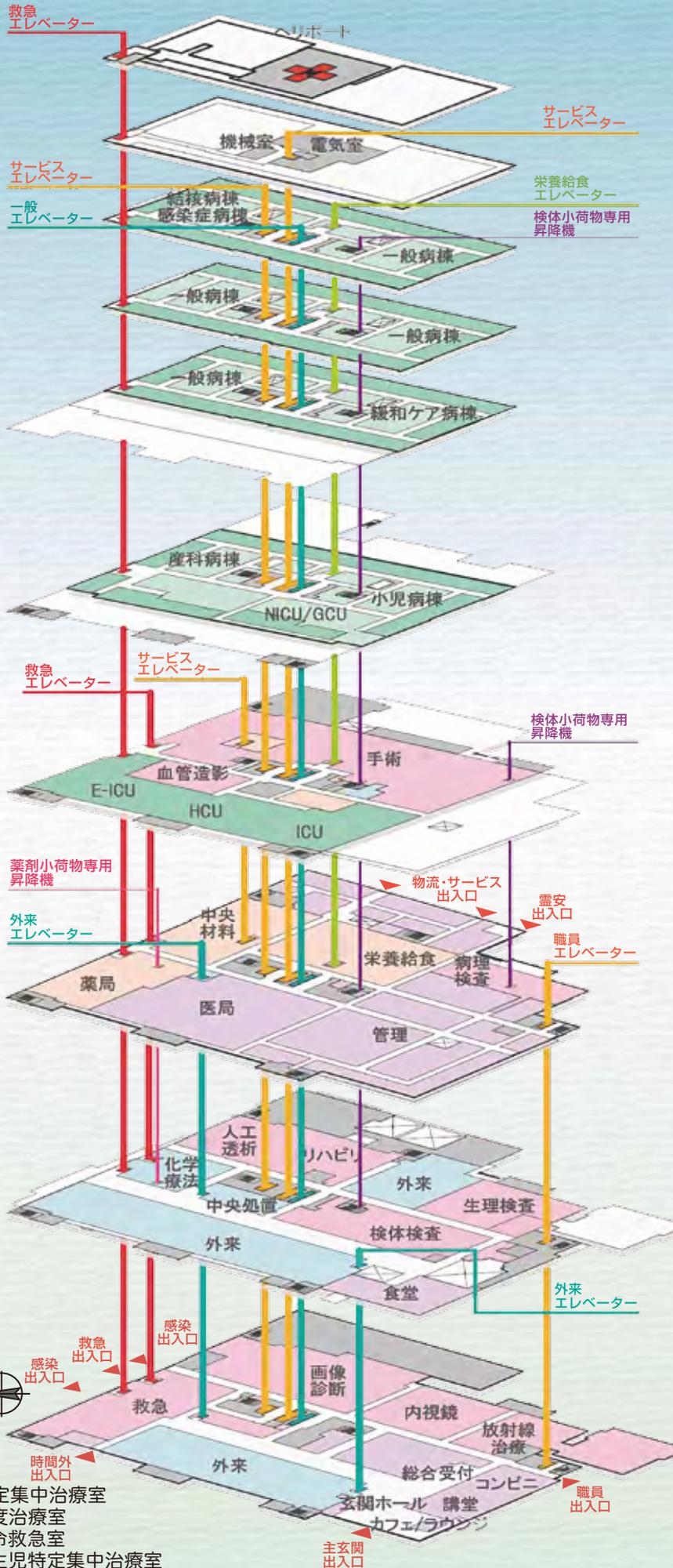
5F

4F

3F

2F

1F



PHF(屋上)

ヘリポート

13F

電気室、機械室

12F

一般病棟 (38床)
結核病棟 (15床)
感染症病棟 (6床)

7F ~ 11F

一般病棟 (92床)
一般病棟 (90床)
一般病棟 (92床)
一般病棟 (90床)
一般病棟 (92床)

6F

一般病棟 (46床)
緩和ケア病棟 (20床)

5F

NICU* (6床)
GCU* (12床)
産科病棟 (30床)
小児病棟 (29床)

4F

ICU (10床)
HCU (12床)
E-ICU (20床)
血管造影
手術

3F

管理
医局
薬局
中央材料
栄養給食
病理検査

2F

外来
化学療法
中央処置
人工透析
リハビリ
生理検査
検体検査
食堂

1F

玄関ホール
総合受付
外来
救急
画像診断
内視鏡
放射線治療
講堂
コンビニエンスストア
カフェ/ラウンジ

管理

病棟

病棟 / 診察

管理

診察

※ ICU : 特定集中治療室
HCU : 高度治療室
E-ICU : 救命救急室
NICU : 新生児特定集中治療室
GCU : 新生児治療回復室

病院の特色

「がん医療の充実」



● 緩和ケア病室（病室のようす）



● CT (320列)

「地域がん診療連携拠点病院」として、手術室の増室（9⇒13室）、SPECT/CTの新規導入、放射線治療装置やCT、MRIの高性能化等によるがん診療の充実を図りました。

また、緩和ケア病棟（20床）や、患者さんや家族の皆さんの憩いと相談の場となる「サポートサロン えん」の新設などによるがん患者支援の充実を図りました。



● 化学療法室

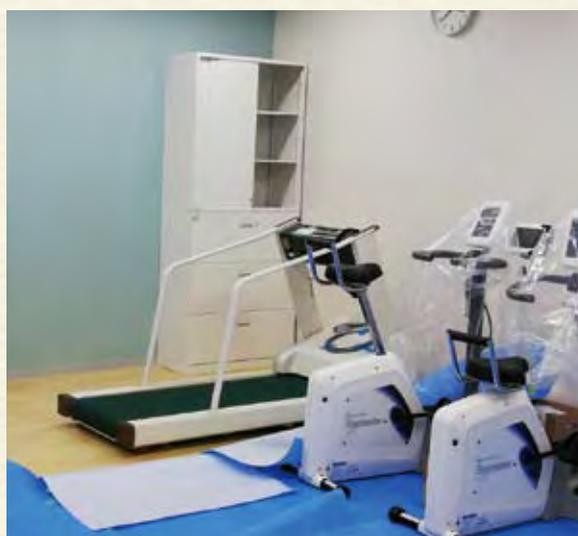


● サポートサロン えん

「脳血管疾患医療、心疾患医療の充実」



●ハイブリッド手術室



●心大血管リハビリテーション室

手術台と血液X線撮影装置を組み合わせたハイブリッド手術室の増（1⇒2室）や、心大血管リハビリテーション室の新設などにより、脳血管疾患医療、心疾患医療の充実を図りました。

「救急医療の充実」



●救命救急センターの初療室



●ヘリ離着陸訓練のようす

救命救急センター内の初療室の増（2⇒3室）や専用手術室の新設、建物屋上へのヘリポート新設などによる救急医療体制の充実を図りました。

また、ICUベッドの増（6⇒10床）による急性期医療への対応の強化を図りました。

「災害医療の充実」

免震構造の採用やライフライン遮断時にも 72 時間以上の医療活動が継続できる施設整備のほか、災害時の医療継続のためのトリアージスペース（ホスピタルストリートを患者収容スペースとして活用）やマンホールトイレの設置等により災害時の医療提供体制の充実を図りました。

なお、東日本大震災の経験を踏まえ、災害発生時においても継続的かつ安定的に医療を提供できる体制の充実を図っています（DMAT は最大で5チーム編成可能）。



●ホスピタルストリート（災害時は患者収容スペースとして活用）



●DMAT で使用する救急車

「小児・周産期母子医療の充実」

産科、NICU、GCU、小児科の病棟の集約によるハイリスク出産や低出生体重児への医療提供体制の強化を図ったほか、普通分娩や里帰り出産への対応を図りました。



●NICU



●エレベーターホール

「患者さんの利便性向上の取り組み」

1. 入院・外来共通サービスの向上

(1) 患者サポートセンターの新設

地域医療機関への紹介窓口機能や退院支援機能などの患者支援業務を集約し、ワンストップ型患者サービスの提供を行う「患者サポートセンター」を新設しました（詳しくは次ページで紹介しています）

(2) 医療費の支払いに係るクレジットカード決済の導入

クレジットカード決済を導入し、キャッシュレスで医療費等の支払いができるようになりました。

2. 外来患者さん向けサービスの向上

(1) 外来診察案内システムの導入（診察待ち時間の負担軽減）

外来患者の受付時に交付する番号を用い、診察室前や待合入口、総合受付、ラウンジ（カフェ）等に設置したモニターに診察順番などを表示するシステムを新たに導入しました。

番号表示による患者プライバシーの保護のほか、診察室以外へのモニターの設置により、ラウンジ（カフェ）やレストランなどにおいても診察順番等の確認ができるようになりました。

内科	診察中	診察室前におこしください			進行状況
1 診 福島	9184	1789	9824	9284	30分遅れ
2 診 佐藤	1329	9325	1568	1100	予定通り
3 診 山田	1267	9123	1982	9441	30分遅れ
4 診 橋本	1257	9325	1562	1643	急患対応中
次の方は受付まで	3568	4628	5529	6197	7681 8618

受付票の受付番号でお呼び出しします。受付番号をご確認ください。

(2) 会計待ち時間の短縮

診察終了後の医療費計算窓口が、1・2階の外来フロアに設置する5箇所のブロック受付で可能となり、会計待ち時間の短縮につなげています。

3. 入院患者向けサービスの向上

(1) 個室の増床

患者プライバシーに配慮し、個室の増床（135床⇒258床）を図りました

(2) 病室のアメニティ向上

病室の内装は、木調の自然な色合いを採用し、落ち着いたのある療養空間としているほか、各部屋での室温調節が可能となり、BS 放送も視聴可能なテレビやブルーレイプレーヤー、無線LANの設置などにより、病室の快適性の向上を図りました。



●個室病室

4. 利便施設

カフェの新設や売店の営業時間拡大などにより、患者や来院者の利便性の向上を図りました。

区分	コンビニストア	カフェ	理・美容室	レストラン
契約相手	(株)ローソン	タリーズコーヒー ジャパン(株)	(株)アートネイチャー	(株)光洋フードサービス
営業日	毎日(年中無休)	毎日(年中無休)	月～土曜日	毎日(年中無休)
営業時間	24時間	平日7時～19時 休日9時～17時	9時～18時	平日9時～15時 休日11時～15時
内容	食料品、日用雑貨、 医療衛生材料等	飲料、軽食	一般理容(カット等)、 ウィッグ販売	食事(日替わり ランチなど)



～ワンストップ型の患者サービスを目指して～

患者サポートセンター開設

患者サポートセンター長 増山 祥二



2018年12月25日に、「いわき市立総合磐城共立病院」が、新病院「いわき市医療センター」に生まれ変わるにあたり、地域医療連携室・医療福祉相談室・がん相談支援センター・訪問看護指導室などを集約して、患者サポートセンターを開設いたしました。

患者サポートセンターが目指しているのは、次の3点です。

- 1) 患者さん・家族が受ける治療を納得し、安心して入院できるように支援する。
- 2) 地域との連携を密にし、患者さん・家族が不安なく入退院できるようにする。
- 3) 患者さん・家族の不安や困りごとの相談を受け、退院後も含めて安心して療養生活が送れるよう支援する。

入院予定の患者さんに対しては、入院前から関わりを開始し、安心して地域に帰れるように継続支援いたします。また、生活上の問題や心配事なども総合的に考え、解決できるようにお手伝いいたします。

例えば、相談できる内容は以下のようなことです。

- 医療費や生活費などの心配
- 介護保険や身体障害者手帳などの社会福祉制度の利用方法
- 医療機関・施設などの情報提供
- 退院・転院などについて
- 療養生活・社会生活に関する不安や心配
- セカンドオピニオンの相談
- がん治療や療養・緩和ケアなどの相談

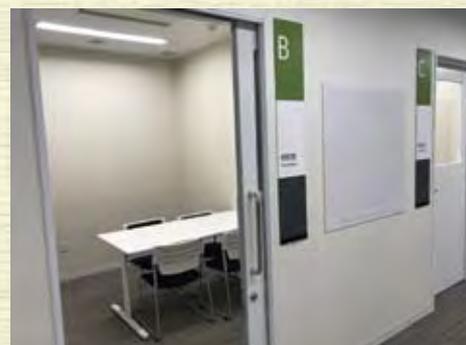


従来の前方支援（紹介や逆紹介）・後方支援（医療相談）・退院支援を行うことはもちろん、新たな機能として、定期入院患者の入院前相談・臨時入院と病床確保困難患者のベッドコントロールも行います。ワンストップサービスとして「一度で用が足りるサービス」を実践し、患者さん・家族多くのニーズに対応できるようにしたいと思います。

プライバシーに配慮した専用の相談室で対応いたしますので、気兼ねなくお越しいただきご利用ください。



相談カウンター



専用の相談室

トピックス

内覧会を開催しました

11月24日(土)、25日(金)の2日間、内覧会を開催しました。屋上のヘリポートでは、多くの方が記念撮影されるなど、ひと足先に医療センターをご覧いただく機会となりました。



ヘリ離着陸訓練を行いました

ヘリポートにおいて、離着陸訓練及び模擬患者の受入れ訓練が行われました。参加者は、ドクターヘリ等の受入れ手順について確認することができました。



防災訓練を行いました

平成30年度下期防災訓練を開催しました。医療センターで初となる今回は、患者さんの安全確保、避難経路の確認、初期消火の手順等についてしっかり確認する機会となりました。





編集後記

開院前、新谷院長の取材に同席した際のお話です。記者さんから「医療センター開院への意気込みをどうぞ」と投げかけられたとき、先生は「これからも基本理念に変わりありません。慈心妙手で職員が一丸となって取り組んでいきます」と答えました。

「総合磐城共立病院」への愛着や、親しみをお持ちの方も多いかと思えます。小生も施設名称が変わることへの名残り惜しさを感じます。しかし、新谷院長の言葉は、昭和25年の開設以来、諸先輩方が築いてきた歴史を、これからも基本理念の下、次の世代へと伝えていけるよう、これからも精進していこう、そんな心持ちにしてくれる一言でした。

いわき市医療センター

みまや通信

●編集・発行/広報委員会 ●発行責任者/院長 新谷史明
〒973-8555 福島県いわき市内郷御厩町久世原16
経営企画課 TEL 0246-26-2134 / FAX 0246-26-2404
<http://www.iwaki-city-medical-center.jp/>
E-mail:kyoritsu@iwaki-kyoritsu.iwaki.fukushima.jp